

## 2017年 第78回応用物理学会秋季学術講演会

講演企画運営委員長 平本 俊郎

秋季学術講演会が、2017年9月5日(火)から8日(金)までの4日間、福岡国際会議場、福岡国際センター、福岡サンパレスホテル(福岡県)で開催されました。

今回の総参加者数は6156名で、昨年秋と比べ、553名の増加となりました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

今回の講演会では14の大分類と、2つの合同セッション、JSAP-OSA ジョイントシンポジウムに、合計3976件の講演がプログラムされ、口頭発表：2785件、ポスター発表：1191件が行われました。大分類別に投稿件数を図1にまとめました。

登壇者の所属を基に投稿機関数を分類すると、大学等83%、企業7%、国・研究機関8%で、前回秋と同程度でした。一般セッションの口頭発表で聴講者数の最多は「12.4 有機EL・トランジスタ」で、200名の聴衆を集めました。

講演会初日は口頭講演、ポスター講演のほか、チュートリアルから始まります。チュートリアルは、当該分野を学び直してみようという方のほか、新たにその分野を学ぼうという方を対象とし、基礎から応用までを、講師に2時間30分にわたってわかりやすくお話しいただいています。今回は初日に3件、2日めに1件、3日めに1件実施しました。チュートリアルは参加者に浸透しており、毎回安定した参加者を集めています。

さらに、2つの特別シンポジウムと23のシンポジウムが開催されました。いずれも現在ホットな話題や重要になりつつある話題を取り上げており、最新の話題が短時間に理解できることから、応用物理学会講演会の顔となっています。初日に開催された特別シンポジウム「IoT がもたらす近未来サービスと最

先端デバイス技術」では、380名、3日めの特別シンポジウム「物質中のトポロジー：応用にどのように結びつのか？」では450名を集め、立ち見が出るほどの大盛況でした。

2013年春からはじまった“Poster Award”では、午前1回、午後2回実施されたポスターセッションにおいて、セッションごとに優れたポスター講演を選出し、選出されたポスターを講演終了後も別の場所で閲覧できるようにしました。そこには、最終的に25件のポスターが並び、多くの方が足を止めていました。Poster Awardの選出過程は以下のとおりです。①プログラム編集委員会で大分類ごとのプログラム編集委員による予稿審査・候補対象の絞り込み、②ポスターセッション開始直後の評価者による最終候補選考のあと、③投票を行い、投票結果を基に、④ポスターセッション終了直前に開催される最終選考会議で決定されます。多くの方々の協力により質の高いポスター発表を選出できています。Poster Awardの設定を機に、ポスターセッションがより充実した情報交換の場となっています。

投票は、前回までは理事、フェロー、代議員のみで行っていましたが、今回からはプログラム編集委員にも投票をお願いしました。投票権をもつ皆様には、事前にアンケートにより投票するセッションを割り当てております(飛び入り投票も可)。ご協力いただきました方々には大変感謝するとともに、次回も是非投票にご協力くださいますようお願いいたします。

Poster Awardと同じく2013年春から始まった、“JSAP Photo and Illustration Contest”を展示会場

にて実施しました。いずれも芸術性を踏まえて、意外性、偶然性ありのすばらしいワンカットで、多くの参加者の注目を集めていました。この企画では、参加者の投票により、最優秀賞1作品、優秀賞4作品が選ばれました。

講演会の企画運営では、参加者の皆様へのサービス向上を意図して、ITの積極的な活用にも注力しています。例えば、プログラムや予稿PDFをスマートフォンやタブレットでも閲覧できるアプリを提供しています。TwitterやFacebookによる情報発信も2013年より行っています。

最後になりましたが、今回の講演会は、会場近隣の九州大学、福岡大学、久留米工業高等専門学校の教員で構成された現地実行委員会による1年間にわたる準備と、アルバイトの学生たちを含めての4日間と前日の現場での活躍のおかげをもちまして、全ての行事を滞りなく進めることができました。現地実行委員長の原一広先生をはじめ、現地実行委員会の諸先生には深く感謝申し上げます。また、今回ご協力いただいた関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

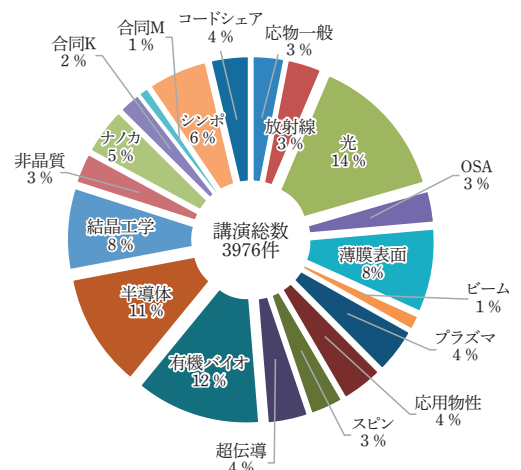


図1 第78回応用物理学会秋季学術講演会 分科別講演件数割合。各大分類の値には若干の誤差があります。